

授業科目 健康危機管理論	科目概要・形式 2単位 30時間	配当年次 1年 後期
科目責任者	大西基喜	
担当者	加來浩器、大西基喜	
1. 科目のねらい・目標 感染症アウトブレイク、食中毒、大規模災害等における事例(フードセキュリティの確保含む)、対応策、リスクコミュニケーションと保健医療福祉分野におけるヘルスケアリスク、マネジメントについて理解する。		
2. 授業計画・内容 Part I 健康危機管理全体の概要（概念、対処法とその方法論、リスクコミュニケーションなど）を理解する。その上で特に、具体的事例に基づきながら、災害時の保健医療福祉分野での課題・対応・平時の体制、医療事故／医療安全の各分野について検討を加え、理解を深める。（大西担当分） Part II 感染症の危機管理を詳しく学ぶ。その現状を学ぶために、昨今の新興・再興感染症の特徴、大規模災害の発生と感染症、マスギャザリングイベントに伴う感染症のリスク、国内外の食中毒の発生状況などについて講義する。また国際社会と一体となった感染症危機管理のしくみと今後の課題について討議を通じて理解する。さらに感染症のアウトブレイク発生時の基本的な対応について、記述疫学および解析疫学を組み合わせた疫学調査手法についてケーススタディを踏まえながら習得する。（加來担当分）		
3. 教科書、参考書 加來浩器 アウトブレイク探偵 -見えない感染伝播に迫る手法- ヴァンメディカル 2010年		
4. 成績評価方法 出席状況や筆記試験（ないしレポート）などにより総合的に評価する。		
5. 受講要件 特にない		
6. 社会人学生に対する配慮 土・日曜日主体の開講		
7. その他		